

科目名	論理国語		
講座名	論理国語		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	2単位	履修区分	3文全員
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2,3年次継続履修			
＜講座内容＞ 2年次までの学習を通じて養成された能力を、さらに高度な文章を読むことを通して磨きをかける。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を習得する。 ・様々な文章を読解することを通して、論理的及び批判的に考える力を習得し、創造的に考える活動を経て、自身の思考力や表現力を高める。 ・文章に含まれる情報の重要度や抽象度によって階層化して整理する方法や推論の方法等を理解し、文章を論理的に読むための読解力を習得する。 ・学術的な文章等を基に自身の考えを書いたり、人間や社会自然等の異なる論点や価値観を結び付けたりすることで、自身の言語感覚を磨く。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる習慣を身に付け、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。			
＜履修上の注意＞			

科目名	国語特論(学)		
講座名	国語特論		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文全員
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・様々な文章を読解することを通して、深く共感したり想像したりする力を養い、自分自身や他の世界に対する豊かな感受性や情緒を育む。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やしたり使ったりする活動等を通して、語感を磨き、我が国の言語文化の創造に寄与する態度を養う。 ・文学作品の内容や形式を踏まえ、書評を書いたり、他者への紹介文をまとめたりすることで、豊かな表現力や読解力を習得する。 ・ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書習慣を身に付け、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。 ・文学作品や古典作品を含む多くの文章を読解することで、幅広い国語の能力を養う。			
＜履修上の注意＞			

科目名	古典探究		
講座名	古典探究		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文全員
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2,3年次継続履修			
＜講座内容＞ 2年次までの学習を通じて養成された能力を、さらに高度な文章を読むことを通して磨きをかける。 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・古文、漢文の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文語や訓読のきまりについて理解を深め、正しい解釈の仕方を身に付けることで、先人のものの見方や考え方を理解する。 ・現代と比較しながら古文や漢文を読むことで、言語や文化の変遷について理解を深め、我が国の文化や価値観の特質について理解を深める。			
＜履修上の注意＞			

科目名	地理探究		
講座名	※地理探究		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文選①
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2,3年継続履修			
＜講座内容＞ 1.現代社会の地理的な諸事象を、系統地理的な手法で考察する方法を身につけます。 2.現代社会を構成する諸地域の地域性や諸課題について、地誌的に考察します。 3.持続可能な社会の実現を目指し、日本が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や国土のあり方について、多面的・多角的に探究します。			
＜履修上の注意＞			

科目名	日本史探究		
講座名	※日本史探究		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文選①
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2,3年継続履修			
＜講座内容＞ 1.古代から現代までの「日本の歴史」を総合的に学習します。 2.歴史にかかわる事柄について考察・構想したことを、説明・論述する力を養います。 3.資料を活用して日本の歴史に関する情報を探究し、まとめる技能を養います。			
＜履修上の注意＞			

科目名	世界史探究		
講座名	※世界史探究		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文選①
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2,3年継続履修			
＜講座内容＞ 1. 古代から現代までの「世界の歴史」を総合的に学習します。 2. 歴史にかかわる事柄について考察・構想したことを、説明・論述する力を養います。 3. 資料を活用して世界の歴史に関する情報を探究し、まとめる技能を養います。			
＜履修上の注意＞			

科目名	政治経済		
講座名	政治経済		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	2単位	履修区分	3文全員
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 1. 現代日本及び世界の政治・経済の動向や本質を把握し、それらに関する客観的な見方や考え方を深めます。 2. 広い視野に立って客観的に考察する力や態度を養い、政治や経済に関する事象相互の関連や本質について探究する方法や技能を身に付けます。 3. 2年次の「公共」における学習内容と関連付けて学習し、演習を通じて大学入学共通テストに対応できる確かな力を身に付けます。			
＜履修上の注意＞			

科目名	記述数学(学)		
講座名	記述数学		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文選②
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 数学の基礎力から応用力まで幅広く身につけるため、クリアー数学演習ⅠⅡAB受験編の演習問題を解く。			
＜履修上の注意＞			

科目名	英語コミュニケーションⅢ		
講座名	英語コミュニケーションⅢ+		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文選②
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 英語コミュニケーションⅢの内容をより深めるために4領域に関わる＋αの活動を行う。			
＜履修上の注意＞			

科目名	数学C		
講座名	数学C		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	2単位	履修区分	3文選③
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 数学の基礎力から応用力まで幅広く身につけるため、共通テスト対策 数学 重要問題演習の問題を解く。			
＜履修上の注意＞			

科目名	古典探究		
講座名	古典探究+		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	2単位	履修区分	3文選③
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 古典探究の内容をより深めるために、発展的な学習を行う。			
＜履修上の注意＞			

科目名	化学		
講座名	化学		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	4単位	履修区分	3文選④
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 1.「物質の状態と平衡」では、物質の状態と変化、溶液の平衡などについて学習する。 2.「物質の変化と平衡」では、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について学習する。 3.「無機物質の性質と利用」では、無機物質や無機物質と人間生活について学習する。 4.「有機化合物の性質と利用」では、有機化合物や有機化合物と人間生活について学習する。 5.「高分子化合物の性質と利用」では、高分子化合物や高分子化合物と人間生活について学習する。			
＜履修上の注意＞			

科目名	倫理		
講座名	倫理		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文選④-1
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> 1. 先哲が人生をどう捉え、何に悩み、人生を豊かにするためにどんな思想をもったかを追体験することを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めます。 2. 日本人特有の考え方やものの見方を、先人たちの思想を通じて理解し、国際社会に生きる主体的な日本人としての在り方生き方について自覚的に考察します。 3. 現代社会の中の様々な倫理的課題について、公民としての役割を自覚し民主社会における人間の在り方、他者と共に生きる自己の生き方を追究します。			
<履修上の注意>			

科目名	化学基礎		
講座名	&化学基礎		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選④-2
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> 1. 「第1編 物質の構成と化学結合」では、生活の中の化学や物質の状態や物質の構成粒子と化学結合について学習する。 2. 「第2編 物質の変化」では物質質量、酸と塩基、酸化と還元について学習する。 問題演習を通して学び直しをするとともに、応用力を身に付ける。			
<履修上の注意>			

科目名	論理・表現Ⅱ		
講座名	論理・表現Ⅱ+		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選④-2
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> 論理表現Ⅱの内容をより深めるために4領域に関わる＋αの活動を行う。			
<履修上の注意>			

科目名	生物		
講座名	※生物		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	2単位	履修区分	3文選⑤
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2,3年継続履修			
＜講座内容＞ 4. 生物の環境応答・・・・・・①動物の反応と行動 ②植物の環境応答 5. 生態と環境・・・・・・①生物群集と生態系 ・観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解します。 ・「生物基礎」と関連させ、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けます。			
＜履修上の注意＞			

科目名	論理国語+		
講座名	論理国語+		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選⑤-1
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2年次でも3年次でも履修可能であるが、2年次で履修した場合3年次で重複して履修することはできない。			
＜講座内容＞ 論理国語の内容をより深めるために、発展的な学習を行う。			
＜履修上の注意＞			

科目名	物理基礎		
講座名	&物理基礎		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選⑤-1
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略） 2年次でも3年次でも履修可能であるが、2年次で履修した場合3年次で重複して履修することはできない。			
＜講座内容＞ 物理基礎の基礎的な問題から標準的な問題を解き、応用力を身に付ける。			
＜履修上の注意＞			

科目名	生物基礎		
講座名	&生物基礎		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選⑤-1
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 2年次でも3年次でも履修可能であるが、2年次で履修した場合3年次で重複して履修することはできない。			
<講座内容> 1. 生物の特徴……………①生物の多様性と共通性 ②細胞とエネルギー 2. 遺伝子とそのはたらき……………①遺伝情報とDNA ②遺伝情報の複製と分配 ③遺伝情報とタンパク質の合成 3. 生物の体内環境の維持……………①体内環境と恒常性 ②体内環境の維持のしくみ ③免疫 4. 生物の多様性と生態系……………①多様な植生と遷移 ②気候とバイオーム ③生態系とその保全 ・1年次に学習した「生物基礎」の内容をもとに、生物や生物現象についてくわしく復習します。			
<履修上の注意>			

科目名	実用国語(学)		
講座名	実用国語		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選⑤-2
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 2年次でも3年次でも履修可能であるが、2年次で履修した場合3年次で重複して履修することはできない。			
<講座内容> 1. 大学入学共通テストに向けて、図表を含む実用的な文章及び論理的な文章、文学的な文章を読解し、適切に解答する力を養う。 2. 文章を読むために必要な語彙や文法について学ぶことで、国語の基礎的な力をより一層培う。			
<履修上の注意>			

科目名	記述国語(学)		
講座名	記述国語		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選⑤-2
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 2年次でも3年次でも履修可能であるが、2年次で履修した場合3年次で重複して履修することはできない。			
<講座内容> 難関大学、超難関大学の入試に向けて、より高度な読解力と記述力が求められる問題に取り組み、その力を養う。			
<履修上の注意>			

科目名	インテンシブリーディング(学)		
講座名	インテンシブリーディング		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	1単位	履修区分	3文選⑤-2
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 2年次でも3年次でも履修可能であるが、2年次で履修した場合3年次で重複して履修することはできない。			
<講座内容> 発展的な内容のReading教材を使用し、速読、多読を多く取り入れ、読むことに特化した授業を展開する。			
<履修上の注意>			

科目名	体育		
講座名	体育		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	3単位	履修区分	3文全員
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> 男女必修種目: バレーボール、陸上競技(長距離走)、体づくり運動、体育理論(6時間) コース別選択種目 男子 ①テニス、ソフトボール、バスケットボール、卓球 ②卓球、バドミントン、サッカー、バレーボール 女子 ①ソフトボール、ダンス、テニス、バドミントン ②バスケットボール、テニス、卓球、サッカー ※男女とも①or②を選択			
<履修上の注意>			

科目名	英語コミュニケーションⅢ		
講座名	英語コミュニケーションⅢ		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	4単位	履修区分	3文全員
<履修条件>（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
<講座内容> 「話すこと」「やり取りすること」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」の5技能を総合的に学習する。個人での活動を始め、ペアワーク、グループワーク、全体発表などの形態で言語活動を行う。言語活動を支える文法や高次な内容の英文理解にも重点を置き、より質の高い言語活動を行う。			
<履修上の注意>			

科目名	論理・表現Ⅲ		
講座名	論理・表現Ⅲ		
履修年次	3年次	文理別	文
単位数	2単位	履修区分	3文全員
＜履修条件＞（必履修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 1・2年の学習を通して養成された基礎的な能力を生かして、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で書く能力を伸ばす。 英語を書いて表現しようとする積極的態度を育てるとともに、前もって用意したメモをもとに会話したり、推敲した原稿を暗記してスピーチするなど、ライティングの能力を活用して積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する。			
＜履修上の注意＞			